

秋田市通町「高砂堂」様で絵画展示

長谷部代表の本年画業の一作目、『たかさごや』が老舗菓子店・高砂堂様（塚本清社長様）のご厚意でギャラリーに展示中です。モチーフは「大正ロマン」あふれる店舗外装です。

江戸期、通町は福島から青森まで続く羽州街道の一部であり、商屋が立ち並ぶ「通の町」の伝統をもちます。

大正期の店舗内装も目を引きます。朱色の暖簾を潜れば、黒檀色の男鹿石の床とショウケースの^{めのう}瑠璃が落ち着いた雰囲気醸し、紺緑色の天井からは、柔らかな光が降り注ぎます。

昭和期、天皇皇后両陛下が召し上がった名物「りんごもち」やアーモンドが入った「ちょっと秋田まで」がお薦めです。

令和期の現在、残念なことに世情故の何かと息苦しい日々が続いておりますが、老舗の銘菓を頂きながら、「気淑く、風和らぐおだやかな時間」を過ごされてはいかがでしょうか。



長谷部光哉『たかさごや』（水彩画）2022年。

本年は「こころ安らぐ美しいたてもの」をモチーフに創作する予定です。



店内のギャラリー。菓匠の歴史に触れられます。



坪庭の若葉に風雅への新風が・・・。

「たかさごや 若葉さやけし 通の町」(光哉)の句を謹呈致しました。



天井から降り注ぐ柔らかな紺緑の光。



レトロな掛け時計がゆるやかな時を刻みます。



老舗らしい伝統の美しさ。街路整備事業によるセットバックの際、建て替えではなくあえて手間のかかる「曳家」の工法を用いたお陰で、今なお、貴重な大正ロマンを私たちに伝えてくれます。

「高砂堂」HP <http://www.takasagodo.jp/>